

# テーマ:里山をつくろう！！

施設番号	66-1344
施設名	宮園保育園
施設所在地	中野区中野1-21-6
法人名	社会福祉法人高峰福祉会

テーマ:自然がいっぱいの園庭を育てる	
このテーマにした理由	
自分たちでつくった園庭を育てていくことで 自然や物を大切に扱う心を育てていけるようにするため	
問いを考える	
園庭で行う活動の中で、自然に興味関心が向くような声掛けを意識して、子供たち自身で水やり等を行えるようにしていく	
環境をデザインする	
準備した物:じょうろ、バケツ、シャベル	
実践中の子ども様子の様子	活動内容
	職員と共に水やりを行うところから、新しい植物や小さな虫を見けたり丸太等を自然と遊びに取り入れたり、新しい園庭ならではの発見や体験をした。
	子どもの様子
当初は、各クラスで水やり当番を決めていたが、園庭遊びの際に自分たちでじょうろを手に取り水やりをする姿が、当番や年齢に関係なく見られるようになった。職員から話題に出さなくても、子供たち同士で花や虫について話し楽しみ、小さな芽が出ている、花が咲きそう、虫さんがいる等、新しい園庭の小さな変化に気づき、嬉しそうに報告する子や、楽しそうに観察する子も多くなった。 また、登降園の際には、保護者の手を引いて変化した園庭を紹介する姿も見られた。 そして、マルシェではお家ごっこや、おままごとで園庭内にある花や葉も使って彩り豊かに遊んでいる。また、木登り、丸太を使った遊び等、子供たち自身で木を遊びに取り入れており、園庭改造が日常の保育に生きている姿が多く見られた。園外での活動も同様に、散歩先で植物や虫に注目し、探したり名称を尋ねる姿が増えた。	

活動スケジュール			
活動内容	時間/回	人数/回	
① 水やり当番	10分	7人	
② 園庭遊びの中で	毎度	-	
③			
④			



振り返りをふまえた気づき
子どもたちと考えて造った園庭だからこそ、より興味関心からの探求心や育てる、大切にするという気持ちが子ども自身の生活、遊びに自発的に反映していた。レンギョウのトンネルに黄色い花が咲くと0歳児クラスの児が「パーパー」とバナナを連想させ保育士に伝える等、発語を促したりそれぞれのクラスで、様々な自然を通した子どものやり取り、関わりが豊かになった。 園庭自体が、自然、運動、砂遊び等エリア(コーナー)区分があることで子どもたちが好きな遊びを選択して楽しみ、情緒豊かに過ごすことが出来、遊びでの衝突(トラブル)も減少した。